

茨城県道路公社

[法人の概要]

平成19年7月1日現在

代表者名	理事長 橋本 昌(非常勤)	県所管部課	土木部 道路建設課	
所在地	水戸市笠原町978-25	電話番号	029-301-1131	
ホームページURL	http://www.i-road.or.jp	E-mailアドレス	honsha@i-road.or.jp	
資本金(基本財産)	11,706,300 千円	設立年月日	昭和46年9月25日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県	9,232,800 千円	78.9 %
	2	千葉県	2,473,500 千円	21.1 %
	3		千円	%
	4		千円	%
	5		千円	%
その他	団体		千円	%
設立目的	県の区域及び周辺地域において、料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持等の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与するため、茨城県が設立団体となって昭和46年9月25日設立された。			

[事業の概要]

事業名	平成19年度事業費	内容
事業1 管理事業	4,552,237 千円	水郷有料道路他6路線及びみらい平駅前有料駐車場他2駐車場の維持管理を実施する。
事業2 建設事業	37,000 千円	友部駅北口駐車場の建設事業
事業3 受託事業	140,123 千円	茨城県等から次の事業を受託し、実施する。 ・主要地方道常陸那珂港南線他2路線の公共区間における道路管理業務 ・県管理国道、県道の道路巡回・調査業務 ・筑波山つつじヶ丘公衆便所の管理
事業4 調査事業	7,000 千円	県内有料道路の交通量調査及び水戸北スマートIC駐車場の調査事業

[組織]

7月1日現在の人数	平成17年			平成18年			平成19年			
	県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB		
役員	常勤理事	4	1	3	4	0	4	3	1	1
	非常勤理事	1	1	0	1	1	0	1	1	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	1	1	0	1	0	1	1	0	1
	計	6	3	3	6	1	5	5	2	2
職員	管理職	9	2	0	8	1	0	9	1	0
	一般職	14	4	0	9	1	0	6	1	0
	臨時職員	1	0	0	3	0	0	3	0	0
	嘱託職員	33	0	0	34	0	0	35	0	0
	計	57	6	0	54	2	0	53	2	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	0	4	1	10	15	50歳 7月	24年 9月			

[収支の状況]		茨城県道路公社		(単位:千円)
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
収 支 の 状 況	収入合計	5,955,798	5,337,478	3,001,111
	事業収入	5,934,023	5,082,060	2,984,501
	事業外収入	21,775	255,418	16,610
	支出合計	3,759,766	3,081,912	2,383,011
	事業支出	3,285,391	2,622,258	1,756,028
	事業外支出	474,375	459,654	626,983
	うち管理費	336,324	355,441	371,641
	うち人件費	361,379	376,482	353,598
	当期収支差額	2,196,032	2,255,566	618,100
	正味財産増加額	0	0	0
	正味財産減少額	0	0	0
当期正味財産増減額	2,196,032	2,255,566	618,100	
前期繰越正味財産	23,847,922	26,043,954	28,299,520	
期末正味財産	26,043,954	28,299,520	28,917,620	
財 産 の 状 況	資産	57,851,249	54,452,218	53,245,346
	流動資産	5,209,396	3,960,420	2,980,807
	固定資産	52,641,853	50,491,798	50,264,539
	負債	15,826,633	13,815,625	11,726,634
	流動負債	3,509,912	549,845	439,420
	うち短期借入金	1,611,000	0	0
	固定負債	12,316,721	13,265,780	11,287,214
	うち長期借入金	12,007,001	12,965,642	10,991,803
正味財産	42,024,616	40,636,593	41,518,712	

[財的関与の状況]		(単位:千円)		
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
財 的 関 与 状 況	補助金	480,000	0	0
	委託金	1,381,080	1,165,716	140,354
	貸付金	2,200,000	1,660,000	924,000
	計	4,061,080	2,825,716	1,064,354
	財政的関与の割合(%)	31%	22%	5%
	損失補償・債務保証	12,007,001	12,965,642	10,991,803

[平成18年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	茨城県から有料道路に関連する公共区間の道路管理等の受託を受け、主要地方道常陸那珂港南線他1件の事業を実施した。
貸付金	表筑波スカイライン精算時未償還額の返済資金として県より無利子貸付金を受けることにより、円滑な運営が図られた。

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	13	14	92.9%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	11	26	40	65.0%
効率性	8	-10	28	-35.7%
合計	32	43	98	43.9%

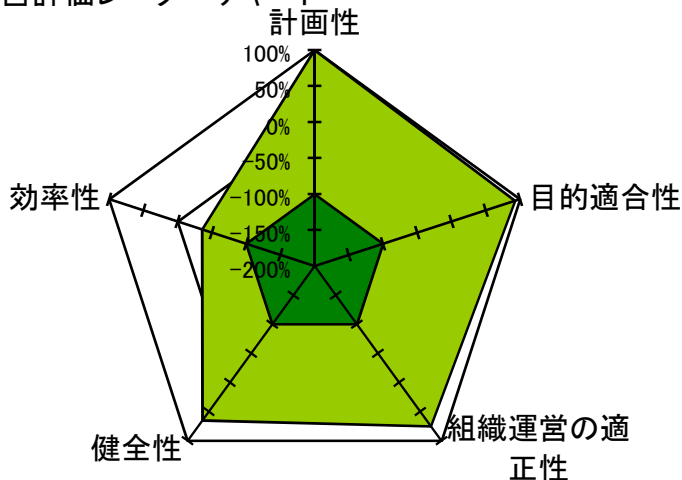
公益法人会計用

茨城県道路公社

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況、経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
有料道路の管理運営を行うと共に、受託事業及び駐車場事業の拡大を視野に入れ、中長期計画を毎年見直し、経営の安定化を図る。	設立目的に沿って、事業運営している。また、お客様の満足度を高めるため、ホームページ等の広報活動の強化及び利用サービスの向上に努める。	中長期計画に基づいて、将来性を勘案し、業務量に応じた組織のスリム化を図り、職員個々の経営参画意識の向上や積極的に問題意識をもてる組織にする。	経営の健全性を向上させるため、前年度に引き続き、人件費、諸経費等を削減し、事業運営の安定化を図って行く。また、受託事業については、事業性格上、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」に基づき適正に執行する。	人件費、管理費については、管理事務所を本社へ統合により、職員の削減及び県派遣職員の削減等により経費削減を行っている。更に効率的な運営を行うため、毎年、事業内容に応じた組織に改善し、管理職(特に役員)の削減を図って行く。
今後の事業展開の方向	現在、有料道路7路線と有料駐車場2箇所を管理運営している。このうち、水郷有料道路及び、新大利根橋有料道路は、採算性が良いが、残る5路線(下総利根大橋、水海道、日立、常陸那珂有料道路及び平成18年4月18日供用開始した若草大橋有料道路)については、計画交通量に達せず採算性の悪い路線となっている。特に常陸那珂有料道路及び若草大橋有料道路については、アクセス道路等の整備の遅れなどにより計画交通量を下回っているため、引き続き、アクセス道路等の整備促進を関係機関に働きかけるとともに、ラジオ放送、ホームページ等によりPRを強化し利用促進を図って行く。また、平成17年度から新規事業として実施している駐車場事業については、更なる開拓、拡大等事業展開に努めていく。			

[法人を担当する課の意見]

計画性		目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
道路利用者および駐車場利用者のニーズを把握しつつ、社会情勢にあった計画を立て、実行していく必要がある。		地方道路公社法の趣旨に沿って事業運営を行っており、今後とも、設立目的に沿った事業を運営していくよう指導していく。	引き続き、将来性を勘案し、業務量に応じた組織のスリム化を図り、職員個々の経営参画意識の向上や積極的に問題意識をもてる組織にするよう努める。また、ホームページ等による情報公開にも積極的に取り組んでいくよう指導していく。	経営の健全性を向上させるため、各路線毎に対応した利用者増加の方策を検討していくとともに、なお一層のコスト削減に取り組んでいくよう指導していく。	職員の年齢構成が高く、一人当たりの管理費、人件費比率とも上昇傾向にあるため、より効率的な運営をするために、引き続き事業の規模・内容に見合った職員の配置と、効率性を高めるための方策を講じさせる。
改革工程表等の取組状況	取組内容等	<p>1 公社経営のあり方の検討 県・公社により全体的な公社経営改革を検討する組織を設置した。今後は外部の有識者の意見を踏まえ、中長期的な公社経営のあり方について検討し、方針を策定する。</p> <p>2 料金収入の確保 利用者の利便性の向上を図る。 各路線に対応した利用増進対策を策定し、実施する。</p> <p>3 経費の削減 業務内容に応じたスリムな組織を目指し、人件費の削減を図る。 維持管理業務について、利用者の安全性・快適性に配慮して経済的・効率的な発注方策を検討した維持管理業務合理化計画を策定し、合理化を進め、経費の段階的な削減を図る。</p>			
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	計画	<ul style="list-style-type: none"> 改革検討組織を設置 利用増進に向けたプロジェクトチームを構成し、主な誘客施設へのアンケート調査を実施し、その結果の分析を行い、増収対策を検討 プロパー職員の退職に伴う人員の補充を嘱託等にし、人件費増を抑制 維持管理計画内容の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 改革検討組織での検討 利用増進策定の制定および実施 常陸那珂有料道路へのETCの設置 人件費の削減 維持管理業務合理化計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 改革検討組織での検討に基づき、経営構造の変革・経営努力 利用増進対策実施・検討・見直し 人件費の削減(平成17年度実績に対し、15%削減を目標) 	
	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 経営改善検討委員会の設置 若草大橋にかかるアンケート調査・分析 人件費の削減 △22,884千円(△6.1%) 	-	-	
法人担当課の意見		<p>当面、大規模建設事業の予定が無いことから、管理業務が主体となる。その中で、駐車場事業や受託業務など、県の道路事業の補完をしつつ、利用者のニーズに対応した、より良いサービスを提供させていく。</p> <p>財産状況は黒字であるが、将来は採算性の悪い路線のみが残ることから、早急に、増収対策を立てて実行させていく。</p> <p>そのため、経営改善検討委員会を通して、路線毎に利用増進対策を検討し、また、人件費についても一層のコスト削減に取り組み、効率的な公社業務の執行が出来るような対策を講じていかなければならない。</p> <p>今後とも県と公社が一体となって目標達成に向けて努めていく。</p>			

[総合評価]

<p>取組みを強化すべき視点</p>	<p> </p>
<p>総合的所見等</p>	<p> </p> <p> 有料道路7路線を設置運営しているが、平成18年4月に供用開始した「若草大橋有料道路」を含め5路線の交通量が計画を下回っており赤字路線となっている。 これらの路線について、最終的に未償還金が発生することがないように、当法人はより効果的な対策を実行するとともに、経費抑制に向けたコスト節減等に取り組んでいく必要がある。 また、新たな整備計画がないことから、当法人及び県は将来の法人のあり方について、早急に検討する必要がある。 </p>
<p>総合的所見等に係る対応</p>	<p> 現在、県・当法人は、全体的な公社経営改革を検討する経営改善検討委員会において、外部有識者の意見を踏まえながら、中長期計画の見直し、維持管理業務の効率化、今後の事業展開等に係る方針を検討しているところである。 Webアンケートや交通量調査などを通し、利用者のニーズを把握し分析して、より効果的な増収対策を講じるとともに、平成18年度から平成20年度までの3年間で人件費を15%削減するなど、より一層のコスト削減が図れるよう、県と公社が一体となって取り組んでいく。 </p>

＜ 茨城県道路公社

から県民のみなさまへ＞

当公社は、県の道路事業を補完し、県内及び県境地域において、利便性・ネットワーク性の高い道路を有料道路として、現在、水郷・新大利根・下総利根・日立・水海道・常陸那珂・若草の7路線を、有料駐車場として筑波山つつじヶ丘・つくばエクスプレスみらい平駅前・JR友部駅北口の3か所にそれぞれ整備し、県民の皆様にご利用いただいております。

しかし、有料道路7路線のうち5路線については、通行台数が計画交通量を下回っています。このため、周辺のアクセス道路の整備を県へ要請するなど、利用しやすくなるよう務めますとともに、観光案内と路線がセットになった分かりやすいパンフレットの配布、利用しやすいインターネットのホームページなど、お客様へのサービス向上のため職員一丸となって取り組んでいきます。また、業務の効率化、組織の見直しなどについて、経営改善検討委員会を設置して検討してしているところです。

今後も、便利で安心して当公社の有料道路・有料駐車場をご利用いただけますよう、安全管理の充実、サービスの向上に取り組むとともに、より一層の効率的な管理運営に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

平成20年2月 専務理事 大久保 勝弘